本報告書は、「やまぐち」からの情報発信、交流・創造へのプロセスと題して、平成25年度事業活動を体系別にとりまとめたものです。

そこには、多くのアーティストとの関わり、作品紹介を通した人々の交流・対話、様々な反響と新たな感動など、この山口の地から発信できた、ひとつひとつの成果があります。

今後も、この施設でさまざまな人々が出会い、対話し、新たな情報芸術の創造と発信の拠点となることを目指し、事業展開を図ってまいります。

ご覧いただき、ご感想、ご意見などをお寄せいただければと思います。

また、この場をお借りして、事業に関わってくださったアーティスト、ボランティア、体験・参加者、観劇者等すべての方々に、深く感謝申し上げます。

平成26年9月
山口情報芸術センター
館長　足立　明男

目　　次

平成25年度山口情報芸術センター収支決算 …… 2

平成25年度山口情報芸術センター事業概要 …… 3

［1］アート …… 4

［2］パフォーミングアーツ …… 14

［3］教育普及 …… 18

［4］ラボ …… 22

［5］シネマ …… 22

［6］10周年記念式典等 …… 27

［7］主な貸館事業 …… 28

［8］施設利用状況 …… 28

［9］その他特記事項 …… 28

主な関連新聞記事 …… 29

(参考資料)山口情報芸術センターの活動成果 …… 39

## 平成25年度 山口情報芸術センター収支決算

山口情報芸術センターの収支決算は、施設維持管理費と自主事業費に大別されます。
自主事業費は、次頁からの事業実施経費で、当財団会計処理規程によるものを各事業体系に合わせ整理、表現したものです。

### 1　施設維持管理費

（支出の部）

| 科　目 | 決算額(円) |
|---|---|
| 施設費 | 180,750,439 |

*主な支出は、
①市立図書館を含めた施設全体に係る電気･ガス･上下水道の光熱水料費（56,320千円）
②施設全体に係る清掃･空調設備等保守業務委託料、スタジオに係る舞台機構等の保守業務委託料などの保守管理経費（81,579千円）です。
*この財源は、山口市からの施設管理運営委託料と雑収入です。

### 2　自主事業費

（収入の部）

| 科　目 | 決算額(円) | 備　考 | 構成比(%) |
|---|---|---|---|
| チケット収入等 | 12,808,760 | 演劇・ダンス等公演・映画に係る入場料収入 | 2.9 |
| 助成金収入 | 27,056,000 | 文化庁、ボーラ等による助成金 | 6.1 |
| 雑収入等 | 30,553,789 | ワークショップ参加料、カタログ等販売手数料等 | 6.9 |
| 補助金収入 | 371,929,027 | 山口市からの自主事業実施係る補助金 | 84.1 |
| 合　計 | 442,347,576 | | 100 |

*チケット収入は収入全体の2.9%ですが、演劇等公演のチケット料金の安価設定やアート事業展覧会の入場無料など、鑑賞機会の創出に主眼を置いた取り組みをしています。

（支出の部）

| 科　目 | 決算額(円) | 備　考 | 構成比(%) |
|---|---|---|---|
| 人件費 | 149,344,290 | 市派遣職員・専門員・副専門員・常勤職員等の人件費 | 33.8 |
| アート | 88,456,719 | アート企画展等に係る経費 | 20.0 |
| パフォーミングアーツ | 37,682,908 | ダンス・パフォーマンス公演等に係る経費 | 8.5 |
| 教育普及 | 46,622,036 | 教育普及企画、サマースクール、ワークショップ等に係る経費 | 10.5 |
| ラボ | 3,484,378 | 研究開発事業、研修生受け入れ等に係る経費 | 0.8 |
| シネマ | 26,831,291 | シネマ企画、シネマ上映等に係る経費 | 6.1 |
| 式典等 | 7,664,890 | 10 周年記念式典等 | 1.7 |
| 共通事業費等 | 82,261,064 | 広報費、研修費、アーカイブ、旅費等の共通経費 | 18.6 |
| 合　計 | 442,347,576 | | 100 |





## 平成25年度 山口情報芸術センター事業概要

### 1　事業の方向性　～地方発信の時代へ ― <場>と<オリジナル>を重視する～

山口情報芸術センター（YCAM）は、メディアテクノロジーと身体をめぐる新しい芸術表現活動を追求する複合的文化施設です。身体表現の場であるシアター［スタジオA］、アート作品を製作･展示できるアートホール［スタジオB］、コンピュータによる作品制作が可能なラボ［InterLab／専任エンジニアが所属］が融合された、世界的にも稀な機能を有した施設です。

YCAMでは、アートの現場に参加する文化体験を通じて、理解発見力、分析力、表現力を伸ばすための、真のコミュニケーションの<場>を創りだすことに挑戦しています。そのために、従来の「展示･保存型」の文化施設ではなく、「この場で考え、コミュニケーションし、共同で作り出そう」という「制作･発信･コラボレーション型」の創造的文化環境づくりを目指しています。その中で新しい発見や共同作業の喜びを体験してもらうことを期待しています。

YCAMの事業は、<アート><パフォーミングアーツ><教育･普及>を3つの柱としています。各分野とも施設の複合的特性を生かした、他の施設では生み出せないオリジナルのプロダクション（制作）を重要視し、地方から世界へ「オリジナルソフト」の発信を積極的に行っています。その成果は、すでに数々の国際フェスティバルでの受賞をはじめ、国内外からの数多くの展示･公演の招聘依頼などによって評価と信頼を得ています。情報共有だけでなく、文化施設どおしのオリジナルソフトの交換から生まれる国際的信頼の蓄積は、YCAM=山口市に新たなブランド力を生んでいます。また、日本の新しい人材･発想を世界に紹介することにも寄与しています。

YCAMの事業を通じて、世界的な創造的才能（アーティストや情報技術関係者）が訪れる<場>を山口市に作りだすことで、有形･無形の文化的蓄積が可能になるばかりでなく、新しい形の地域還元も目に見える形になっています。例えば、アート作品で開発利用されたコンピュータプログラムやアプリケーションソフトが、ラボの活動を共有することで、別の分野の教育材ソフトの開発に応用され、オリジナルの情報教育教材を生むケースなどです。これらは、データソフトの提案だけでなく、ワークショップの形で施行するパッケージツールとしての現場普及の側面もフォローし、地元地域へのさまざまな形での情報技術･リテラシー教育を還元していく「THINK GLOBAL, ACT LOCAL」を現実的に成功させています。このような形で生み出されたYCAMオリジナルソフトは、地元だけでなく、国内の他の地域の教育関係施設からも高い関心を寄せられています。

### 2　事業の概況

山口情報芸術センター（YCAM）は、展示スペース、劇場、ミニシアター、市立中央図書館を併設する複合文化施設として、2003年11月に開館し、平成25年11月に開館10周年を迎えました。

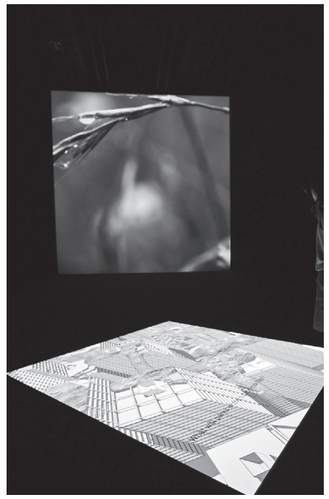
そこで、「アート」「環境」「ライフ」といった概念を中核に刻々と変化するこの世界を、より深い共感を持って読み解き、知覚しながら、共に想像／創造する環境へ一歩踏み出すことをコンセプトに、「YCAM10周年記念祭」を開催しました。「YCAM10周年記念祭」では、YCAMのこれまでの取り組みを振り返るとともに、山口市民の皆様とのより深い関わりのもとに市内各所にも活動を展開しながら、開館以来取り組んできた創造的実践の数々を土台に、進化するアートセンターを予感させる、次なる展開を示す事業となりました。

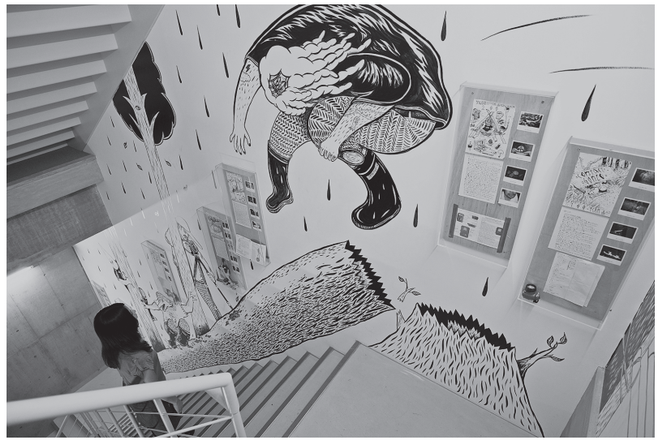
### 3　各事業総括表

| 事業区分 | 事業数 | 入場者数（人） |
|---|---|---|
| ［1］アート | 4 | 223,105 |
| ［2］パフォーミングアーツ | 3 | 3,528 |
| ［3］教育普及 | 6 | 53,113 |
| ［4］ラボ | 1 | 20 |
| ［5］シネマ | 8 | 27,393 |
| ［6］10 周年記念式典等 | 10 | 20,677 |
| ［7］貸館（件数） | 36 | 4,007 |
| 合計 | 68 | 331,843 |

（備考）
①事業区分･事業数の詳細については、次頁からの個別事業(実施月順)の内容をご覧下さい。
②入場者数について
・ホワイエ、ギャラリー等の展示については実数把握ができないため、入場者数に加えていません。

# ART





1 国際グループ展「art and collective intelligence」



## 1 国際グループ展「art and collective intelligence」

参加作家:タレク・アトウィ、コンタクト・ゴンゾ、ハックデザイン+リサーチ、平川紀道、ダフィット・リンク、ムン・キョンウォン
開催日時:7月6日(土)~ 9月29日(日)〈火曜除く〉 10:00 ~19:00
会　　場:YCAMスタジオB 、YCAM2階ギャラリー、YCAM地下倉庫、道場門前大駐車場屋上特設スペース(山口県山口市黄金町80)
入場者数:24,229人(入場無料)

SNSやwiki、Linuxなどに代表される、コンピューターとネットワークの結合によって知のあり方を著しく変革させてきた「集合知」をテーマに、今後、芸術表現が、社会・環境・思想・コミュニケーションのあり方とどのように関わり、そしてどのような変革が起こせるのかを考える展覧会を開催しました。
さまざまな知識や情報がインターネット上で組織化される歴史的変遷をたどりながら、アーティストによる作品の構想、生成プロセスや関係性の構築において「集合知」を前提として、アーティスト個人のビジョンだけでは完結しない作品の在り方を提示しました。観客による鑑賞や振る舞いも展覧会全体の創造性に影響を与え、アーティストは他者や周囲の状況とプロセスを共有しながら、会期中も作品が更新されていきました。

### 【関連】「collective intelligence・リサーチ・プロジェクト」

リサーチ:江渡浩一郎
開催日時:7月6日(土)~ 9月29日(日)〈火曜除く〉 10:00 ~19:00
会　　場:YCAM1階ギャラリー(入場無料)

「ニコニコ動画」研究で知られるメディアアーティスト・研究者、江渡浩一郎が歴史的な視点から「集合知」を捉え直し、実例を紹介しました。

### 【関連】「EAVP2013:エコ・アート・ビレッジ・プロジェクト2013―断片としてのエコ・アート・ビレッジの提案―」

出展作家:フィリップ 、藤井弘、 村山修二郎、松野真知、三藤秀仁、パトリックM.ライドン&スヒー・カン、中野良寿、中前寛文、ノーヴァヤ・リューストラ、富田俊明、武内貴子+木下英大、その他関連アーティスト、研究者など
開催日時:7月6日(土)~ 9月29日(日)〈火曜除く〉 14:00 ~18:00(平日)、13:00 ~18:00(土・日・祝日)
会　　場:山口市旧店舗(山口県山口市駅通り1-7-7)(入場無料)

美術家・中野良寿がかつて滞在していた有機農業・酪農、アートセラピーなどを特徴とするエコビレッジ・コミュニティを、アートの視点から創り出すことを目的とした展示を開催しました。

### 【関連】オープニングライブ

出　　演:KK NULL、吉田達也
開催日時:7月7日(日)13:00 ~
会　　場:YCAMホワイエ
入場者数:55人(入場無料)

### 【関連】アーティストトーク

開催日時:7月7日(日)14:20 ~15:30
会　　場:YCAMホワイエ
入場者数:55人(入場無料)

### 【関連】オープニングイベント

出　　演:タレク・アトウィ、コンタクト・ゴンゾ
開催日時:7月7日(日)18:00 ~
会　　場:道場門前大駐車場屋上特設スペース (山口県山口市黄金町1-80)
入場者数:40人(入場無料)

国際グループ展「art and collective intelligence」オープニングオープニングイベントとして、参加作家の1人、タレク・アトゥイと豪華ゲストによるパフォーマンスを開催しました。

2 ART-ENVIRONMENT-LIFE

## 2 ART-ENVIRONMENT-LIFE

坂本龍一×高谷史郎による最新作を含む3つのインスタレーション同時公開

坂本龍一 ＋ YCAM InterLab「Forest Symphony」

開催日時:7月26日(金)～2014年3月2日(日)〈火曜除く〉10:00 ～19:00
会　　場:YCAMホワイエ
入場者数:156,045人(入場無料)

東日本大震災の後、坂本龍一は〈人類が生きる環境〉を支える森林へと意識を向けるべく、樹木が発する微弱な生体電位を元に楽曲を制作するというアートプロジェクトを構想しました。そのプロジェクトにYCAM InterLabが参画し、インスタレーションやウェブコンテンツとして展開したものが「Forest Symphony」です。本プロジェクトでは、YCAM InterLabが樹木の生体電位を計測し、ネットワーク経由でサーバーに集積するセンサーデバイスを開発しました。
市内や世界各地の樹木にそれを設置し、生体電位を収集しました。そして、集められた樹木のデータにもとづき、会場を包み込むサウンドを生成するとともに、アーティストの高谷史郎のビジュアルディレクションのもと、生体電位の変化や、センサーデバイスが設置された環境の情報を視覚的に表現。これらをサウンドインスタレーションとして空間的に統合し、季節や天候に応じて変化を続ける〈森のような空間〉を現出させました。
なお、この展示は平成26年7月から9月まで開催された札幌国際芸術祭に招聘されました。

坂本龍一＋ 高谷史郎「LIFE - fluid, invisible, inaudible... Ver.2」

開催日時:11月1日(金)～ 2014 年3月2日(日)〈火曜除く〉10:00 ～19:00
会　　場:YCAMスタジオA
入場者数:7,141人(入場無料)

「LIFE—fluid, invisible, inaudible..」は、坂本龍一とアーティストの高谷史郎とのコラボレーションにより制作されたインスタレーション作品で、2007年にYCAMでの滞在制作を経て発表されました。YCAM での発表後、国内外で巡回展示を重ねており、本展では新たな要素を加え、大幅にリニューアルした新バージョンを公開しました。
会場の中空には、内部を人工の霧で満たされた9つの水槽が宙吊りにされており、霧をスクリーンに映像が次々と投影されます。さらにこの映像に呼応するかたちでサウンドが上方から降り注ぎ、刻々と姿を変える映像とともに、同期と分散を繰り返しながら複雑に交錯。観客は移ろいゆく光と音に身を委ねながら、環境へと徐々にその感性を開いていきました。
本展では、新たに東日本大震災以降の人間と自然との共生についてのビジョンを描いた映像とサウンドを追加し、新バージョンとして発表しました。また、これに合わせて2007 年の前バージョンの記録映像も展示しました。

坂本龍一＋ 高谷史郎「water state1」

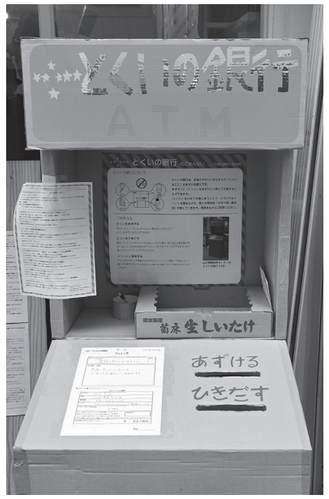
開催日時:11月1日(金)～ 2014 年3月2日(日)〈火曜除く〉10:00 ～19:00
会　　場:YCAMスタジオB
入場者数:8,384人(入場無料)

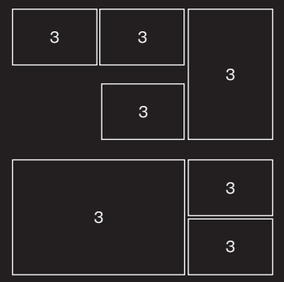
坂本と高谷のコラボレーションによって制作されたインスタレーション作品で、本展が世界初公開となりました。生命を支える根源的な物質であり、状況に応じて様々なかたちに姿を変える「水」。坂本はかねてから水に対して強い興味を示してきましたが、一方で作品のモチーフとして扱うことに困難を感じていたともいいます。しかし今回、新作の構想を進める中で、水そのものを素材とする可能性について考えを深めるようになり、YCAM InterLab が大量の水滴を自在に落下させることができる装置を開発し、これによって、水が見せるさまざまな表情を、間接的に表現するのではなく、水そのものを使って表現する可能性が生まれました。本作ではこの装置を用い、水滴と水面の複雑な変化を生み出すとともに、その様相をサウンドへと反映。視覚と聴覚の調和とコントラストが観る者に多様な記憶を喚起させていく作品となりました。

### 【関連】アーティストトーク&スペシャルコンサート

トーク出演:坂本龍一、高谷史郎
モデレーター:浅田彰
コンサート出演:坂本龍一、宮田まゆみ
開催日時:2014年1月5日(日)トーク13:00～　コンサート14:30～
会　　場:YCAMスタジオA、ホワイエ
入場者数:269人(入場料3,000円他)

「アーティスト・トーク」では、「構造と力」の著作で知られる思想家の京都造形大学大学院院長、浅田彰氏を司会に迎え、坂本龍一と高谷史郎が作品についてお話ししました。「スペシャル・コンサート」では、坂本龍一(ピアノ、法螺貝)と宮田まゆみ(笙)が出演し、展示中の作品「Forest Symphony」と「LIFE—fluid, invisible, inaudible Ver.2」の2つの空間を、笙の演奏と共に移動しながら、 作品それぞれの音響と生演奏を合わせたコンサートとなりました。






3　YCAM10 周年記念祭公募企画



## 3　YCAM10周年記念祭公募企画

「LIFE by MEDIA　メディアによるこれからの生き方／暮らし方の提案」
開催日時:第1期7月6日（土）～ 9月1日（日） / 第2期11月1日（金）～12月1日（日）10:00 ～19:00〈火曜除く〉
会　　場:山口中心商店街空き店舗3軒
入場者・参加者数:20,758人（入場・参加無料）

シェア、ノマド、モバイルハウスなど、近年変わりつつある「生き方」や「暮らし方」。そしてこれからますますメディアが生活に溶け込むなかで、〈ライフ〉の未来はどのようなかたちを描くのか。このテーマを元にプランを募集したところ、日本を含む10カ国以上から約140点の応募がありました。坂本龍一をはじめ、各分野の第一線で活躍する6名の審査員による厳正な審査を経て、3つのプロジェクトの受賞と実現が決定しました。
いずれも商店街の中に常設された一般参加型のアートプロジェクトです。行き交う人々を巻き込み、それぞれの視点から「メディア」を捉え、 地域に生きる人々同士、さらには山口を訪れる観光客とのコミュニケーションに活気ある変化をもたらす各プロジェクトは、10周年記念祭のテーマである〈アート〉〈環境〉〈ライフ〉を生活空間で実践する象徴的なものとなりました。

審査員: 坂本龍一（音楽家）、青木淳（建築家）、江渡浩一郎（メディアアーティスト）、津村耕佑（FINAL HOMEディレクター）、山崎亮（コミュニティデザイナー）、兼松佳宏（greenz 編集長）

### 受賞・展示作品

西尾美也「PUBLOBE（パブローブ）」
前期は、個人のワードローブ(衣服を始めとする服飾品)を持ち寄って、誰もが利用可能な公共のワードローブ(衣装用のたんす)をつくり、後期は、参加者とともに巨大なパッチワークの家を制作しました。いずれも「服飾品」というメディアを通した活気あるコミュニケーションを生み出す環境そのものをつくりだしました。作品に使用する古着の提供を市民に呼びかけたところ、20000点もの服飾品が集まりました。
入場者・参加者数:第1期　4,336人　第2期:3,764人　合計:8,100人

深澤孝史「とくいの銀行」
アーティスト自らが頭取を務めるこの銀行で、預けたり、引き出したりできるのはお金ではなく、住民が得意なこと。預かった「とくい」をもとに、様々な企画を実施しながら運用することで 、地域に潜在している無形の資源を顕在化させ、新たな経済圏/文化圏をつくりだすものです。預けられた「とくい」の数は888件ものぼり、預けた人同士で交換するイベントが42回開催されたことで、商店街ににぎわいが生まれました。
入場者・参加者数:第1期　1,837人　第2期:1,161人　合計:2,998人

犬飼博士＋安藤僚子「スポーツタイムマシン」
映像データベースに保存されたさまざまな人々と「かけっこ」で競走できる装置をつくるプロジェクトです。参加者自身や、家族、友人などが走る様子を記録し、それをコースの側面に設置されたコースと同サイズのスクリーンに投影。スクリーン上に再現された人物とかけっこで 競走することができます。「デジタル技術」と「空間」の幸せな融合を目指すこの装置を通じて、過去・現在・未来を横断する身体コミュニケーションのためのプラットフォームを実現しました。みんなが走った回数は11,149回、駆け抜けた距離の総延長は557.45kmにも及びました。そして連日賑わいをみせたこの作品は、文化庁メディア芸術祭においてエンターテイメント部門優秀賞を受賞、またアルス・エレクトロニカ インタラクティブアート部門において佳作を受賞しました。
入場者・参加者数:第1期　6,890人　第2期:2,770人　合計:9,660人

4 「YCAMDOMMUNE」



## 4 「YCAMDOMMUNE」

開催日時:7月6日(土)~ 9月1日(日)/ 11月1日(金)~12月1日(日)〈火曜除く〉
月·水·木 13:00 ~22:00、金·土·日·祝 12:00 ~ 22:00
会 場:DOMMUNEビル(山口県山口市道場門前1- 2- 31)
入場者·参加者数:5,787人(入場·参加無料)
視聴者数:174,820人(視聴無料)

「現在美術」を掲げる宇川直宏が率いるライブストリーミングスタジオ兼チャンネル、DOMMUNE。「ライブストリーミング」とは、PCやスマートフォンなどで、映像と音声からなる「生配信」を楽しむことができるインターネット上のTV番組です。番組は月曜日から木曜日にかけて平日毎日19時から24時まで配信され、2010年3月の開局以来、多彩なトーク番組とライブパフォーマンスを全世界へ配信し続け、世界でも圧倒的な人気と視聴者数を獲得しています。山口市で展開する「YCAMDOMMUNE」では、DOMMUNEの開局から現在まで貯蓄してきた、これまでどこにも公開されたことのない約2000番組(総計5000時間)を超えるアーカイブから厳選したプログラムを商店街の空きビルを使ったインスタレーション展示として初公開しました。また、この会場にYCAMが誇る音響施設を持ち込み「山口サテライトスタジオ」として、ライブやトークを全世界に配信しました。

### 【山口サテライトスタジオからの配信内容】

### 「宇川直宏、DOMMUNEを語る」

出 演:宇川直宏、エキソニモ、渡邉朋也(思い出横丁情報科学芸術アカデミー)
開催日時:7月6日(土)19:00~
定 員:20人

### 「スナック芸術丸出張編 都築響一による「旅館 西の雅常盤『女将劇場』」生中継!」

出 演:都築響一、旅館 西の雅 常盤 女将
開催日時:7月7日(日)19:00~
開催会場:旅館 西の雅常盤

### 「FILM by MUSIC 架空の映画音楽の為の映像コンペティション 審査員+作曲家トーク」

19:00-FILM by MUSIC 審査員+作曲家トーク
出 演:樋口泰人(boid主宰/映画批評)、三輪眞弘、上野耕路、青葉市子、瀬田なつき、三宅唱ほか(スペシャルゲスト予定)
21:10-青葉市子ライブ
22:10-三輪眞弘演出パフォーマンス
参加作家 樋口泰人、岡本美津子、辻川幸一郎、真利子哲也、
開催日時:7月14日(日)19:00~
定 員:20人

### ILLREMEの「ヒップホップっこども新聞 山口編」

出 演:せんせい:イルリメ えんちょう:伊藤ガビン
開催日時:7月18日(日)19:00~、28日(日)19:00~
定 員:20人

4　「YCAMDOMMUNE」

4

4

4





### 「菊地成孔と大谷能生のJAZZDOMMUNE」

出　　演:菊地成孔、大谷能生
開催日時:8月24日(土)19:00〜
定　　員:20人

### 「山川冬樹／「パ」フォーマンスプラクティス」

18:00-20:00:「山川冬樹／「パ」フォーマンスプラクティス」<トーク>
出演:山川冬樹、聞き手:五所純子
20:00-22:00:「THE VOICE PHENOMENON」<ライブ>
LIVE & Performance:山川冬樹、五所純子、KILLER-BONG
出　　演:山川冬樹、五所純子、KILLER-BONG
開催日時:11月9日(土)18:00〜22:00
定　　員:20人

### 「不失者」灰野敬二、主義、そして実践…

19:00-20:00「灰野敬二 SOLO LIVE」<ライブ>
20:00-21:30「不失者」灰野敬二、主義、そして実践…<トーク>
21:30-22:30「灰野敬二 SOLO LIVE」<ライブ再放送>
出　　演:灰野敬二、五所純子
開催日時:11月10日(日)19:00〜 22:00
定　　員:20人

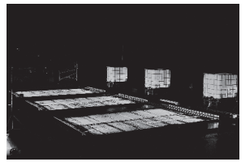
### 大友良英　Sachiko M　江藤直子「あまちゃん　アンコール」

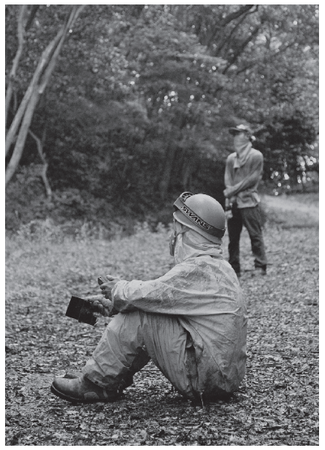
第1部　「全て語ります、あまちゃん音楽制作の背景」
出　　演:大友良英、Sachiko M、江藤直子
第2部「DJ あまちゃんスペシャル」大友良英、Sachiko M、江藤直子
出　　演:大友良英、Sachiko M、江藤直子
開催日時:11月29日(金)18:00〜22:00
定　　員:20人

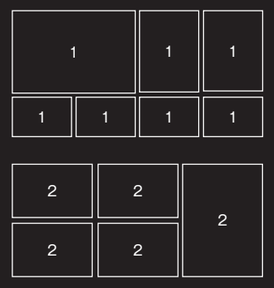
【関連】宇川直宏「YCAMDOMMUNELIVE」
開催日時:7月27日(土)　20:00開演 / 23:00終了
会　　場:YCAMスタジオA
料金:全席自由
入場者数:342人(入場料5,000円他)

第一部のトークでは、著述家の湯山玲子をホストに坂本龍一を迎え、坂本が影響を受けたクラシックから現代音楽までを爆音で堪能する「爆クラ(爆音クラシック)」を敢行しました。第二部のライブ「禅と生命体と宇宙線」では、音楽家ヤン富田の演奏を通じて、現代音楽だけでなくパフォーマンスを含めた現代アートの世界を体験することができました。第一部から第二部を通してライブの配信を行い、視聴者とのコミュニケーションを図りました。

# PERFORMING ART







1　ハイナー・ゲッベルス「Stifters Dinge」

2　contact Gonzo+YCAM 参加型アウトドア・プロジェクト



## 1　ハイナー・ゲッベルス「Stifters Dinge」

コンセプト・音楽・演出:ハイナー・ゲッベルス
制作:テアトル・ヴィディ・ローザンヌ
開催日時:7月13日（土）19:00開演、14日（日）14:00開演/19:00開演、15日（月・祝）14:00開演
会　　場:YCAMスタジオA
入場者数:474人（入場料4,000円他）

世界的現代作曲家、演出家のハイナー・ゲッベルスによるインスタレーション・パフォーマンス作品「シュティフタース・ディンゲ」を上演。人間は登場せず、ほぼ全て機械制御で変容する「自然」環境を観客の前に出現させ、そこに見いだされる美について、そして、人間社会に浸透している自然、自然に対する人の営みについての問いを発しました。本作は、ミュージシャンのいない演奏、歌のないミュージカルであるという、演劇の基本的な構造を再考させる作品でもあり、ジャンル横断的な表現を扱う文化施設として取り組むべき作品であると考えました。

### 【関連】プレレクチャー

講　　師:新野守広（ドイツ演劇批評）
出　　演:坂本龍一、ハイナー・ゲッベルス
開催日時:7月13日（土）15:00 ～17:00
会　　場:YCAMスタジオ C
入場者数:35人（入場無料）

ドイツを代表する作曲家、演出家のハイナー・ゲッベルスが、ドイツ演劇史や社会動向との関係から「Stifters Dinge」が生まれた背景を読み解くレクチャーを開催しました。講師にはドイツ演劇批評の新野守広を迎えました。

### 【関連】10周年記念祭オープニングトーク「坂本龍一＋ハイナー・ゲッベルス〈アート〉〈環境〉〈ライフ〉」

開催日時:7月14日（日）15:45～17:00
会　　場:YCAMスタジオA
入場者数:247人（入場無料）
※日英逐語通訳

YCAM10周年記念祭のアーティスティックディレクターである坂本龍一とゲッベルスによるトークイベントを開催しました。世界の第一線を走りつづけ、現在のアートシーンにも多大な影響を与え続ける二人のアーティストが、本作から拡がるアートの今後等、意見を交換しました。

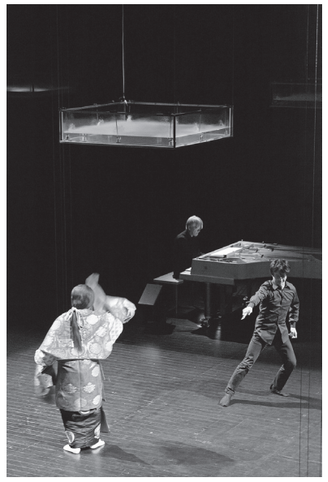
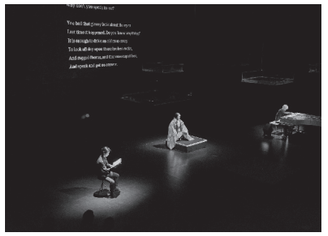
## 2　contact Gonzo+YCAM参加型アウトドア・プロジェクト「hey you, ask the animals. / テリトリー、気配、そして動作についての考察」

参加作家:contact Gonzo、yang02（ガジェット開発）、稲福孝信（アプリケーション開発）、YCAM
開催日時:8月24日（土）～ 26日（月）各日15:30 YCAM集合
　※24日、25日、雨天のため中止
会　　場:元山口県21世紀の森（山口県山口市宮野上139- 6）
参加者数:24人（参加料3,000円）※代替企画参加者数:8月24日22人、25日14人

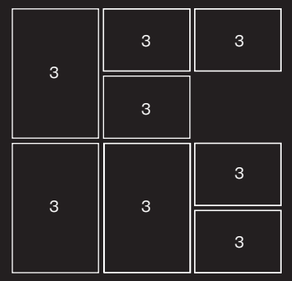
「痛みの哲学　接触の技法」を謳うアーティスト・contact GonzoとYCAMが環境との接し方を提案する参加型アウトドアパフォーマンスツアーを行った。山口市内の山間部を縦横無尽にめぐるフィジカルな経験（＝カラダ）に加え、写真や映像など、参加者の行動を記録するシステム（＝メディア）を使用した。具体的には、アーティストとYCAM、そして外部スタッフが共同でインスタントカメラに取り付ける自動撮影を行う機械や、携帯電話をトレイルカム（山に取り付ける、獣道用監視カメラ）化する機能を独自に開発、また新規に開発したメディアツールを用いて、自分の周りの環境との新しい接し方、遊び方の発見をめざしました。
　ツアー当日は、YCAMからバスで移動し、山の中で坂をすべり降りる「山サーフィン」や広大な山の中で携帯電話型トレイルカムを身につけて、木の上や山の窪みに身を潜める「かくれんぼ」、そしてツアーの最後では、これらの様子を撮影した映像素材をcontact Gonzoが実況し、イベントを盛り上げました。

# PERFORMING ART



3　能楽コラボレーション
野村萬斎 ＋ 坂本龍一 ＋ 高谷史郎「LIFE - WELL」






## 3　能楽コラボレーション　野村萬斎+ 坂本龍一+ 高谷史郎「LIFE - WELL」

演出・構成:野村萬斎、坂本龍一、高谷史郎
出　　演:野村萬斎、梅若紀彰、一噌隆之、大倉源次郎、亀井広忠、小寺真佐人ほか、坂本龍一（ピアノ）
開催日時:10月22日（火）　14:00開演 / 19:00開演（2回公演）
会　　場:YCAMスタジオA
入場者数:799人（入場料7,000円他）

YCAM10周年記念祭の主要な事業のひとつとして、音楽家の坂本龍一と狂言師の野村萬斎、そして実演芸術の世界でも活躍するアーティスト高谷史郎による能楽への現代的アプローチをテーマにした舞台公演を制作、発表しました。伝統芸能と現代芸術のコラボレーションを通して、未来に向けた実演芸術の一つのあり方を提示しました。YCAM委嘱作品として2007年に発表した坂本と高谷によるインスタレーション作品「LIFE-fluid,invisible,inaudible…」の新バージョンが設置された空間内で、野村萬斎をはじめとする現代能楽界の担い手たちと、坂本・高谷のコラボレーションによる舞台作品を上演しました。

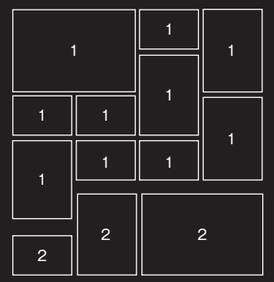
**【関連】「LIFE-WELL インスタレーションライブ」**

音　　楽:坂本龍一
総合演出:高谷史郎
開催日時:10月20日（日）～22日（火）、26日（土）、27日（日）、11月1日（金）、3日（日）、4日（月・休）　計8日間開催
会　　場:野田神社能楽堂、境内
入場者数:1,651人（入場無料）

**【関連】「LIFE-WELL インスタレーションライブ」**

出　　演:坂本龍一、Ametsub
開催日時:11月2日（土）15:00開演
会　　場:野田神社境内に展示されたインスタレーションの中
入場者数:284人（入場料2,500円他）

# EDUCATIONAL



1　子どもたちが創造する屋外メディア公園「コロガルパビリオン」
2　「YCAM サマースクール」



## 1　子どもたちが創造する屋外メディア公園「コロガルパビリオン」

開催日時:7月26日（金）～12月1日（日）〈火曜日除く〉10:00～18:00
会　　場:山口市中央公園
入場者数:46,907人（入場無料）

2012年にYCAMで展示され、子どもたちから人気を集めた「コロガル公園」が、建築ユニットassistantの手によって半屋外型パビリオンとなって登場しました。公園内の起伏のある床には、スピーカーやマイク、LED 照明など様々な「メディア」を使った仕掛けが埋め込まれており、子どもたちは、それらを使って新しい遊びのルールを生み出していくことができます。これらの仕掛けや公園内の様々なメディアと遊びながら自然に触れることで、子どもたちが自分の体とメディアを結びつけて考える機会を創出しました。
また、会期の終了間際に再開を希望する子どもたちが中心となり自主的な署名活動を展開し、最終的には約1000人からの署名が集められました。この署名活動に対し山口市とYCAMでは、単に再開するのではなく一連の経験を効果的な学びの場として、子どもたち自身が考える力や創造する力を育む方法について検討を繰り返してきました。そこで、2014年8月1日から8月31日までの1ヵ月間、コロガルパビリオンを再開しメディア教育事業を基盤とした特色ある学びの環境を提供し、次代を担う世代への創造的な人材育成の事業として実施しました。

**【関連】「子どもあそびばミーティング」**

開催日時:8月18日（日）14:00～15:30、9月16日（月）14:00～15:30
会　　場:山口市中央公園内「コロガルパビリオン」
対　　象:小・中学生
参加者数:8月18日11人、9月16日15人（参加無料）

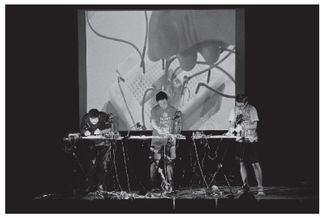
子どもあそびばミーティングでは、コロガルパビリオンで遊ぶ子どもたちが、YCAM InterLabのスタッフと共に、パビリオンに追加したい遊びや機能について話し合いを行い、このミーティングで採用されたアイデアは、その後アップデートを経てパビリオンに新しい機能として追加されました

## 2　「YCAMサマースクール」

開催日時:7月20日（土）～9月29日（日）、11月2日（土）～4日（月）、9日（土）、10日（日）、16日（土）、17日（日）、23日（土）、24日（日）、
　　30日（土）、12月1日（日）〈火曜除く〉　計73日間開催
会　　場:YCAMワークスベース
参加者数:561人（参加無料　※一部材料費は自己負担）

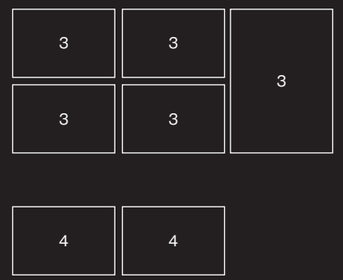
開館以降、情報社会への関心やメディアリテラシーの普及・拡大を目指し、様々な教育普及活動を続けるYCAMの、これまでの経験や蓄積を活かした、これからのアートセンターにおける教育普及プログラムを実施しました。デジタルクラフトや映像制作、サウンド制作、デザインやプログラミングといったコースを準備した他、ワークショップやギャラリーツアーなども開催したことで、夏休みの自由研究や工作、親子での体験などでにぎわいました。また、県内外からインターンを受け入れ、YCAM独自の教育普及活動を通じた人材育成の場としても機能させることを目指しました。

# EDUCATIONAL



3 「Yamaguchi Mini Maker Faire」

4 「walking around surround」インスタレーション






## 3 「Yamaguchi Mini Maker Faire」

開催日時:8月10日（土） 12:00～18:00 、11日（日） 10:00～18:00
会　　場:YCAMスタジオA及び山口市中央公園
入場者・参加者数:5,113人（入場無料、参加有料）
出展数:108店舗（うち県内28店舗、市内12店舗）

Maker Faireは、ものづくりを行う個人、機関、企業における「作り手」の発表と交流の場として、技術を使った斬新なアイデア、ノウハウを共有するだけではなく、ものづくりの素晴らしさや楽しさ、創造性を、大人から子どもまで気軽に楽しめるイベントです。西日本初となる山口開催では、YCAMで展開する教育普及プログラムとの連携により、幅広い年齢層の参加がありました。

## 4 「walking around surround」インスタレーション

開催日時:11月1日（金）～12月1日（日）（火曜除く） 13:00 ～18:00
会　　場:はりはり（山口県山口市道場門前2- 3- 8）
入場者数:437人（入場無料）

「walking around surround」は「音の聞こえ方」「音による地元山口の印象」をテーマとした、メディアリテラシー、鑑賞教育といった、公共文化施設における教育普及的な目的をもった事業で、これまでは主にワークショップとして実施していた「空間の作曲」という全く新しい経験を、ワークショップ以上に多くの人数に体験してもらえるインスタレーションという展示形式へと転換したものです。
今回のインスタレーション版では、山口市内の小学生と共にフィールドレコーディング（野外録音）をしてきた「山口の音」を素材として用いました。山口市には海沿いの街から山間部の集落まで、多様な自然環境があり豊かな音の風景が広がっています。これらの音を小学生がプロ用の音響機材を用いて録音しました。録音にも様々な技術的なコツがあるため、ワークショップ形式で音を収集しに出かけました。こうした音の素材を8個のスピーカーに振り分け、簡単な操作によって音を入れ替えることが出来るようにして“はりはり”で展示しました。

## 5 自主事業関連教育普及事業

### ●国際グループ展「art and collective intelligence」ギャラリーツアー

開催日時:8月3日（土）、17日（土）、9月7日（土）、14日（土）、21日（土）、28日（土）各回14:30～（参加無料）
専門のスタッフとともに作品を体験しながら、鑑賞ポイントを発見し参加者同士でディスカッションするギャラリーツアーを開催しました。

### ●ART-ENVIRONMENT-LIFEギャラリーツアー

坂本龍一 ＋ YCAM InterLab「Forest Symphony」
開催日時:8月3日（土）、17日（土）、9月毎週土曜日、11月9日（土）、23日（土）、30日（土）、12月21日（土）、
1月25日（土）、2月22日（土）各回15:30～（参加無料）

坂本龍一＋ 高谷史郎「LIFE - fluid, invisible, inaudible... Ver.2」」
開催日時:12月7日（土）、1月11日（土）、2月8日（土）各回15:30～（参加無料）

坂本龍一＋ 高谷史郎「water state1」
開催日時:11月9日（土）、23日（土）、30日（土）、12月7日（土）、21日（土）、1月11日（土）、25日（土）、
2月8日（土）、22日（土）各回14:30～（参加無料）
専門のスタッフとともに作品を体験しながら、鑑賞ポイントを発見し参加者同士でディスカッションするギャラリーツアーを開催しました。

## 6 YCAMオリジナルワークショップ

### ●映画を2回観る会

会　　場:YCAMスタジオC
参加者数:69人（参加無料）
Vol.1　作品「ユンボギの日記」
開催日時:1月12日（日）14:00～
ゲスト:冨永昌敬（映画監督）
Vol.2　作品「車のない生活」
開催日時:2月23日（日）14:00～
ナビゲーター:YCAM教育普及スタッフ
Vol.3　作品「アブコヤワ」
開催日時:3月16日（日）14:00～
ゲスト:村上龍（美学／山口大学準教授）

映画作品の魅力をより深く楽しむための鑑賞法を発見することを目的とし、ある1本の短編のアニメーションや実写映画を、ナビゲーターによる解説や参加者同士の感想共有を間に挟んで、2度鑑賞するというワークショップ型上映会です。この一連の過程を通じて、作品が持つ多面性や重層性があらわになり、作品に対する見方がより柔軟で幅広いものへと変化していくと同時に、映画を観て感じたことを言葉にして共有する力、つまりは批評的な視点を養うことができました。

## [4] ラボ

### 1　openFrameworks デベロッパーカンファレンス2013

開催日時:8月7日（水）～14日（水）（火曜除く）
会　　場:YCAM館内
参加者数:20人

多くの開発者が国際的な協同により進化させてきたメディア芸術表現のための開発環境「openFrameworks」（以下、「oF」という。）を高度な知識・技術の蓄積である「集合知」の例として検証し、今後の芸術と技術の展望を検討する。世界中にいる「oF」の主要な開発者を集め、「oF」の開発を促進する開発者会議を行う。またカンファレンスの期間中に、各開発者、アーティストによるプレゼンテーションや、一般向け、子ども向けの各ワークショップやレクチャーを順次開催しました。

## [5] シネマ

### 1　YCAM10周年記念祭公募企画「架空の映画音楽の為の映像コンペティション」

開催日時:7月6日（土）～12月1日（日）12:00 ～17:00
会　　場:FRANK（山口県山口市道場門前2- 4-19 2F･3F）
入場者数:22,500人（入場無料）※一の坂川周辺の関連展示を合わせた数字

映画とともにあり、その演出に効果的に同期していく映画音楽が存在する一方、「実在しない架空の映画」の為に作曲された映画音楽が存在します。実在しない映画の為に音楽家があるイメージを持って作曲した音楽に映像をつけられるとすれば、どのような作品が出来上がるのか。「架空の映画音楽のための映像コンペティション」では、「架空の映画の為に作曲された映画音楽」の作曲を三輪眞弘、上野耕路、青葉市子の3人の作曲家に委嘱し、その音楽から想像される映像や映画を募集しました。厳正な審査を通過した作品を上映しました。また、本コンペティションのために作曲された曲をもとに、瀬田なつき、真利子哲也、三宅唱ら3名の気鋭の映画監督を招聘し、新たに映像作品を制作、コンペティションの受賞作品とともに上映しました。

審査員:坂本龍一（音楽家）、樋口泰人（boid 主宰／映画批評）、岡本美津子（プロデューサー／東京藝術大学映像研究科アニメーション専攻教授）、辻川幸一郎（映像作家）、真利子哲也（映画監督）、阿部一直（山口情報芸術センター［YCAM］副館長／チーフキュレーター）

受賞作品:「みずくろい」2013年／日本／4分33秒／監督:吉開菜央／音楽:青葉市子、「日々」2013年／日本／3分56秒／監督:大柿鈴子／音楽:青葉市子、「2012 Sep 12」2013年／日本／3分40秒／監督:大力拓哉／音楽:上野耕路、「ricochet」2013年／日本／6分34秒／監督:朝倉太郎／音楽:青葉市子、「CACHE」2013年／Mexico･USA／5分／監督:ウンベルト･デューク、ニック･ディーマー／音楽:三輪眞弘
佳作作品:「日常」室井孝介 /「日本」布村喜和
次点:「WHITE」ALIMO／「Unser Haus」木村悟之／「ギターのはなし」早坂良輔／「それ自身の為に愛される」佐藤裕樹／「377」古谷晋司

【関連】瀬田なつき「5windows」山口特別編
開催日時:7月6日（土）～12月1日（日）12:00 ～17:00
会　　場:一の坂川周辺地域（6カ所）

瀬田なつき監督が、2011年に横浜･黄金町を舞台に制作した「5windows」と今回の「架空の映画音楽の為の映像コンペティション」の招聘作家として新たに撮り下ろした「5windows　mountain mouth」を山口市の中心部を流れる、一ノ坂川周辺のカフェや店舗などのスペースで本作を展示しました。山口の小さな川を背景にモニターに映し出されていく横浜の風景が、現実の時間と場所を超えた不思議な空間と新たな物語を創り出しました。

### 2　「音楽家が選ぶ、音楽映画」

開催日時:7月17日（水）～ 22日（月）、11月8日（金）～18日（月）（火曜日は除く）
会　　場:YCAMスタジオC
入場者数:557人（入場料1,000円他）

音楽家･坂本龍一が音と音楽に焦点をあてて選定したジャン=リュック･ゴダール「映画史」や溝口健二「雨月物語」、アンドレイ･タルコフスキー「ノスタルジア」など、24作品を上映しました。

【関連】レクチャー
講　　師:岸野雄一（スタディスト／著述家／音楽家／俳優）
開催日時:1回目7月20日（土）14:00～17:00、2回目11月16日（土）14:00～17:00
会　　場:YCAMスタジオC
参加者数:1回目（ノンカウント）、2回目70人（参加無料）

スタディスト（勉強家）岸野雄一が、映画における音響／音楽の効用」と題して「雨月物語」「怪談」を題材にそれぞれの作品におけるサウンドトラックの効果や可能性について分析しました。

「雨月物語」© 角川映画

### 3　YCAMオールナイト上映
### 「変態（メタモルフォーゼ）アニメーション･オールナイト」

開催日時:7月27日（土）　23:55～6:00
会　場:YCAMスタジオC
入場者数:119人（入場料2,000円他）

真夏の夜の奇妙なアニメーション･オールナイトを実施しました。この上映会は、国内外のアニメーション作品の研究/評論を精力的に手がける土居伸彰と、国内の映像作品を世界へ発信するインディーズ･レーベル「CALF(カーフ)」による監修のもと選定された世界各国の〈変態〉的なアニメーション作品計13点を、MCの解説を織り交ぜながら、一晩かけて一挙上映しました。

「ゲット･リアル」

### 4　「真夏の夜の星空上映会」

開催日時:8月9日(金) ～11日(日)　19:30～
会　　場:山口市中央公園
入場者数:810人（入場無料）

「真夏の夜の星空上映会」はYCAMの夏の恒例行事となっています。すっかり涼しくなった夕暮れ時にお友達、ご家族と共に、芝生でゆったりとお楽しみいただける映画「赤ちゃん教育」「ムーンライズ･キングダム」「王立宇宙軍オネアミスの翼」を上映した他に、10周年を記念して開催する「架空の映画音楽の為の映像コンペティション」受賞作品を一挙上映しました。

「王立宇宙軍オネアミスの翼」
© BANDAIVISUAL／GAINAX

### 5　「YCAM爆音上映会」

開催日時:8月23日(金) ～25日(日)
会　　場:YCAM館内スタジオA
入場者数:爆音上映会362人、サイレント映画即興演奏会118人（入場料1,300円他）

映画評論家／boid主宰の樋口泰人氏が、吉祥寺バウスシアターを拠点に全国各所で開催している「爆音映画祭」をYCAMにて実施しました。YCAMが誇る高音質の音楽ライブ用の音響セッティングを使い、大音響の中で映画を視聴する「爆音映画祭」では、映画を大音量で観ることにより、その映画における音の核心はどこにあるのかを追求していきました。
「ジャンゴ 繋がれざる者」「ブンミおじさんの森」「右側に気をつけろ」「コンボイ」「We Can't Go Home Again」「ゾンビ」「国道20号線」「RAP IN TONDO」+空族トークイベントを上映しました。

「右側に気をつけろ」
©1987 Gaumont／Vega Film AG／TSR

【関連】「牧野貴×ジム･オルーク　ライブ上映」
出　　演:牧野貴、ジム･オルーク
開催日時:8月23日（金）19:00開場 / 19:30開演
会　　場:YCAMスタジオA
入場者数:65人（入場料2,500円他）

2012年にロッテルダム国際映画祭で日本人初のタイガーアワードを受賞、2013年には、北米最古のインディペンデント映画祭、アナーバー映画祭で、ベスト･オブ･インターナショナルフィルム賞を受賞した映像作家･牧野貴の作品上映と、ライブ上映「Space Noise」を牧野と音楽家ジム･オルークがパフォーマンスも併せて演奏しました。

【関連】「Hair Stylistics（中原昌也）無声映画ライブ」
出　　演:Hair Stylistics（中原昌也）
開催日時:8月24日（土）13:00開場 / 13:30開演
会　　場:YCAMスタジオA
入場者数:53人（入場料2,500円他）

作家としてだけでなく音楽家としても知られる、中原昌也が無声映画に併せて即興で演奏をつけていきました。無音の映画だからこそ観るものに迫るダイナミックな映像に、サウンドトラックがつけられることによって映画の見え方が変容していく上映ライブでした。

## 6　コミュニティシネマ山口

会　　場:YCAMスタジオC
入場者数:741人（入場料1,300円他）

上映作品
4月「ビラルの世界」「その夜の侍」
5月「ザ・フューチャー」
6月「ホーリー・モーターズ」
9月「世界最古の洞窟壁画35mm忘れられた夢の記憶」
10月「いわさきちひろ～27歳の旅立ち～」「ドキュメンタリー映画 100万回生きたねこ」
12月「世界一美しい本を作る男―シュタイデルとの旅―」
2月「ハーブ&ドロシー アートの森の小さな巨人」「ハーブ&ドロシー ふたりからの贈りもの」
「キューティー&ボクサー」
3月「ポルトガル、ここに誕生す ギマランイス歴史地区」「共喰い」

「ビラルの世界」© son et lumiere

## 7　Select CINE TECTONICS

映画を芸術作品として捉え、世界の様々な地域の古典から新作まで、芸術史及びメディア史的視点から見て、意義のある映画作品を紹介するシリーズ。ドキュメンタリーも含んだ普段山口では上映される機会がまれな様々な映画作品を、映画作家やテーマ別にセレクトして上映しました。

### ●Select CINE TECTONICS =19
### 「トーマス・アルスラン+R・W・ファスビンダー監督作品上映」

開催日時:5月1日（水）～6日（月・休）、5月10日（金）～12日（日）、5月15日（水）～19日（日）
会　　場:YCAMスタジオC
入場者数:274人（入場料1,000円他）

上映作品:「兄弟」「売人」「ベルリン・アレクサンダー広場」「周縁で」「晴れた日」「彼方より」「休暇」「イン・ザ・シャドウズ」「出稼ぎ野郎」「不安は魂を食いつくす」「マルタ」「マリア・ブラウンの結婚」「ローラ」「40㎡のドイツ」「ベルリン・大都市交響楽」インディペンデント映画の騎手、トーマス・アルスランとニュージャーマンシネマを代表する映画作家、ライナー・ヴェルナー・ファスビンダーの作品を中心にしたドイツ映画を上映しました。

【関連】トークイベント
開催日時:5月6日（日）14:30～
会　　場:YCAMスタジオC
入場者数:12人（入場無料）
ゲスト:渋谷哲也（ドイツ映画研究者／東京国際大学准教授）、司会:阿部一直（YCAMキュレーター）

「兄弟」

## 8　特集上映

### ●映像制作集団「空族」特集

開催日時:4月19日（金）～21日（日）
会　　場:YCAMスタジオC
入場者数:90人（入場料1,300円他）

上映作品:「花物語バビロン」「バビロン2-THE OZAWA-」「かたびら街」「雲の上」「サウダーヂ」「同じ星の下、それぞれの夜」
インディペンデントで活動している映像制作集団「空族」の作品を上映しました。

【関連】トークイベント
開催日時:4月21日（日）16:00～
会　　場:YCAMスタジオC
入場者数:60人（入場無料）
ゲスト:相澤虎之介、富田克也（監督／映像制作集団「空族」）





### ●ホン・サンス／恋愛についての4つの考察

開催日時:4月26日（金）～29日（月・祝）
会　　場:YCAMスタジオC
入場者数:66人（入場料1,300円他）

上映作品:「よく知りもしないくせに」「ハハハ」「教授とわたし、そして映画」「次の朝は他人」
韓国のゴダール、ロメールの弟子と評され、ヨーロッパで絶大なる人気を誇るホン・サンスが近年に描いた4つの恋愛映画を上映しました。

### ●佐藤真監督特集

開催日時:6月7日（金）～9日（日）、6月14日（金）～16日（日）
会　　場:YCAMスタジオC
入場者数:141人（入場料1,300円他）

上映作品:「まひるのほし」「SELF AND OTHERS」「花子」「エドワード・サイードOUT OF PLACE」「阿賀に生きる」「阿賀の記憶」
映画史にのこる数々のドキュメンタリーを手がけ、2007年に急逝した佐藤真監督作品を一挙上映しました。

「花子」©Rinko Kawauchi

### ●ジョアン・ペドロ・ロドリゲス　レトロスペクティヴ

開催日時:9月13日（金）～15日（日）、9月21日（土）～23日（月・祝）
会　　場:YCAMスタジオC
入場者数:107人（入場料1,000円他）

上映作品:「オデット」「男として死ぬ」「ファンタズマ」「追憶のマカオ」等
リアルな描写を基調に、濃厚な夢や幻想、性的な妄想がきわめてパワフルな映像で繰り広げられる彼の作風は、ヨーロッパの先鋭的アートにも通じる作品です。ヨーロッパで高く評価されているロドリゲス監督作品群を上映しました。

### ●王兵　長編ドキュメンタリー特集

開催日時:10月10日（木）～14日（月・祝）
会　　場:YCAMスタジオC
入場者数:77人（入場料1,300円他）

上映作品:「鉄西区」「鳳鳴―中国の記憶」「三姉妹～雲南の子」
国内外の映画祭りで、圧倒的な注目を集めている、中国の映画作家・王兵。山形国際ドキュメンタリー映画祭で受賞した作品や最新作など、長編ドキュメンタリーを3本上映しました。

### ●レフ・クレショフ傑作選

開催日時:10月25日（金）～27日（日）
会　　場:YCAMスタジオC
入場者数:66人（入場料1,300円他）

上映作品:「ボリシェヴィキの国におけるウェスト氏の異常な冒険」「掟によって」「二人のブルディ」
激動の1920年代のロシアで、現代映画の基礎となる、モンタージュ理論を創造し、コメディからサスペンス、人間ドラマまで幅広いジャンルの作品を世に送り出したレフ・クレショフの傑作を上映しました。

### ●アメリカを撃つ―孤高の映画作家ロバート・クレイマー

開催日時:12月6日(金)～8日(日)
会　　場:YCAMスタジオC
入場者数:27人(入場料1,300円他)

上映作品:「アイス」「マイルストーンズ」
1999年に急逝するも、いまもなお、多くの映画作家に影響を与え続ける、ロバート・クレイマーが、ヴェトナム戦争、反戦など、アメリカが最も刺激に満ち、激しく動いた時代をカメラにおさめた作品を上映しました。

### ●文化庁優秀映画鑑賞推進事業　ドラマ傑作選

開催日時:12月12日(木)～15日(日)
会　　場:YCAMスタジオC
入場者数:207人(入場料500円他)

上映作品:「愛の讃歌」「華岡青洲の妻」「浪華悲歌」「稲妻」
文化庁優秀映画鑑賞推進事業は東京国立近代美術館フィルムセンターに所蔵されている貴重なフィルムの中からプログラムを編成し、毎日全国各地で巡回上映するものです。今年度は日本を代表する女優と巨匠の出会いによって生まれた名作を上映しました。

### ●大島渚レトロスペクティヴ

開催日時:1月9日(木)～13日(月・祝)、1月16日(木)～19日(日)、
　　1月23日(木)～26日(日)、1月30日(木)～2月2日(日)、2月6日(木)～9日(日)
会　　場:YCAMスタジオC
入場者数:598人(入場料1,000円他)

上映作品:「愛と希望の街」「忍者武芸帳」「帰って来たヨッパライ」「愛の亡霊」「戦場のメリークリスマス」「御法度」「キョート・マイ・マザーズ・ブレイス」他、大島渚のテレビドキュメンタリー　等
2013年に逝去した映画監督で脚本家の大島渚が手がけた作品を一挙上映しました。この特集では、大島のほぼ全ての劇場公開作のほか、テレビドキュメンタリーなども上映しました。

【関連】レクチャー
開催日時:1月11日(土)15:30～
会　　場:YCAMスタジオC
入場者数:42人(入場無料)
ゲスト:冨永昌敬(映画監督)
大島作品を愛してやまない映画監督の冨永氏に、作品の魅力について語っていただきました。

【関連】トークイベント
開催日時:2月8日(土)15:00～
会　　場:YCAMスタジオC
入場者数:50人(入場無料)
ゲスト:大島新(映像制作会社ネツゲン大島渚プロダクション代表)、
　　濱崎好治(川崎市民ミュージアム学芸員)
映画制作からバラエティー番組への出演まで、大島の多岐に渡る活動についてお話しいただきました。

「戦場のメリークリスマス」
©大島渚プロダクション

### 9　中原中也記念館20周年記念事業　「映画で知る中原中也」

開催日時:2月16日(日)
会　　場:YCAMスタジオC
入場者数:98人(入場無料)
上映作品:「眠れ蜜」

2014年で開館20周年を迎える中原中也記念館の記念事業として、中原中也の恋人で女優の長谷川泰子の出演作を上映しました。

【関連】トークイベント
開催日時:2月16日(日)15:30～
会　　場:YCAMスタジオC
入場者数:83人(入場無料)
ゲスト:佐々木幹郎(詩人)
「眠れ蜜」の脚本を手がけた、詩人の佐々木幹郎氏をゲストにお迎えし、本作の着想から企画、製作から完成まで、そして女優・長谷川泰子についてお話をうかがいました。





## [6]　10周年記念式典等

### 1　YCAM10周年記念祭オープニングセレモニー

開催日時:7月6日(土)
会　　場:山口市中心商店街アーケード内
参加者数:案内22人、見学者100人程度

YCAM10周年記念祭のオープニングを飾る式典を市内の商店街アーケード内にておこないました。10周年記念祭では、YCAMの館内ばかりではなく、人々の「暮らし」が感じられるまち中にも作品を多く展示しましたが、その中心的な展開場所である商店街において式典を開催することで、記念祭の始まりをアピールしました。

### 2　YCAM10周年記念祭グランドオープニングセレモニー

開催日時:7月13日(土)
会　　場:YCAMホワイエ
参加者数:案内42人、見学者100人程度

記念祭のアーティスティックディレクターである坂本龍一の来館にあわせ、公募企画受賞作品の表彰式を行いました。

### 3　YCAM10周年記念祭「THE OPENING LIVE CONCERT」

出　　演:坂本龍一、上野耕路、テイラー・デュプリー、ILLUHA
開催日時:7月26日(金)　18:30開場 / 19:00開演
会　　場:YCAMスタジオA
料金:全席指定
入場者数:409人(入場料6,000円他)

坂本龍一がライブ当日から当館で公開中の、樹木の生体電位によってサウンドが生成されるインスタレーション「Forest Symphony(フォレスト・シンフォニー)」の音響空間内における坂本自身による即興セッションを皮切りとして、上野耕路によるメドレー、坂本龍一、テイラー・デュプリー(ニューヨーク)と音楽ユニットILLUHA(イルハ)による即興セッションが、3時間にわたり行われました。記念祭事業を象徴するコンセプトをベースに、幅広い音楽を体感できるコンサートとなりました。

### 4　山口情報芸術センター開館10周年記念式典

開催日時:11月1日(金)10:30～11:00
会　　場:YCAMホワイエ
参加者数:130人

YCAM開館10周年を記念して式典を開催し、来賓には文化庁芸術文化課長、山口市議会議長をはじめ多くの方々にご出席いただきました。式の中では、YCAMの10年の紹介する映像を紹介や、記念祭アーティスティックディレクター坂本龍一があいさつをしました。

### 5　YCAM ARCHIVES EXHIBITION

開催日時:4月20日(土)～ 6月16日(日)10:00 ～19:00〈火曜除く〉
会　　場:YCAMホワイエ
入場者数:19,874人(入場無料)

YCAMは、2003年11月の開館以来、メディアテクノロジーと身体をめぐる新しい芸術表現を追求してきました。本展では、これまでに発表してきた作品やコンサート、ワークショップなどの記録映像のほか、大友良英や三上晴子、エキソニモをはじめとするYCAMとの関わりが深いアーティストたちへのインタビュー映像などを展示し、YCAMが取り組んできた横断的な活動の数々をご紹介しました。本展が、YCAMの活動に通底する〈メディアへの眼差 し〉を多くの人々と共有する機会となったことから、7月から本格的にスタートした10周年記念祭へ繋ぐ役割を果たしてくれました。

## [7] 主な貸館事業

### ●公州市姉妹都市締結20周年記念韓国映画上映「牛の鈴音」「ハーモニー心をつなぐ歌」

(主催)山口市
開催日時:6月1日(土)13:30～
会　　場:YCAMスタジオC

### ●山口市立中央図書館10周年企画動物のいない動物園プロジェクト

(主催)山口市立中央図書館
開催日時:8月21日(水)13:00～
会　　場:YCAMスタジオC、多目的室

### ●ロイヤルミルクティー年末上映会

(主催)山口大学映像制作サークル　ロイヤルミルクティー
開催日時:12月19日(木)10:00～
会　　場:YCAMスタジオC

### ●図書館セミナー「高収益を実現するインターネットを使った販路拡大3つの秘策」

(主催)日本政策金融公庫、山口市、山口市教育委員会
開催日時:1月25日(土)13:30～16:00
会　　場:YCAMスタジオC

### ●自主制作映画上映会　シネ☆パラ

(主催)山口大学文化会映画倶楽部
開催日時:3月14日(金)11:00～17:00
会　　場:YCAMスタジオC

## [8] 施設利用状況

### 1　入館者数

月別内訳(人)

| | | | |
|---|---|---|---|
| 4月 | 51,647 | 10月 | 72,499 |
| 5月 | 59,100 | 11月 | 79,122 |
| 6月 | 59,535 | 12月 | 58,719 |
| 7月 | 79,337 | 1月 | 55,828 |
| 8月 | 103,551 | 2月 | 58,218 |
| 9月 | 78,093 | 3月 | 45,996 |
| 合　計 | 801,645 | | |

### 2　見学･視察者数

月別内訳(人)

| | | | |
|---|---|---|---|
| 4月 | 38 | 10月 | 176 |
| 5月 | 17 | 11月 | 117 |
| 6月 | 74 | 12月 | 114 |
| 7月 | 76 | 1月 | 46 |
| 8月 | 320 | 2月 | 62 |
| 9月 | 42 | 3月 | 7 |
| 合　計 | 1,089 | | |

### 3　施設使用状況

| 施設 | 開館日数 | 使用日数 | 使用率(%) |
|---|---|---|---|
| スタジオA | 308 | 188 | 61.1 |
| スタジオB | 308 | 250 | 81.4 |
| スタジオC | 308 | 194 | 63.1 |
| 多目的室 | 308 | 130 | 42.1 |

## [9] その他特記事項

### 1 アーカイブ事業

内容:例年通り、プロジェクト毎の映像編集を実施しました。Webや新たに設置したインフォメーションコーナーにおいて、イベントの告知や、過去の作品内容の情報提供に努めました。

### 2　実習生受け入れ状況

●博物館実習(4名)
山口県立大学、筑波大学、首都大学東京、福岡県青少年科学館
期間:8月23日～9月2日
内容:教育普及ワークショップ運営等

●大学を活用した文化芸術推進事業
アート／メディア／身体表現に関わる専門スタッフ育成事業(6名)
岐阜県立情報科学芸術大学院大学
期間:9月23日(月)～11月3日(日)
内容:展覧会の会場における現場担当者による直接レクチャーを受ける実践的研修





主な関連新聞記事

主な関連新聞記事

主な関連新聞記事

主な関連新聞記事

主な関連新聞記事

〈参考資料〉
山口情報芸術センターの活動成果

## YCAM InterLabオリジナルプロダクション／対外効果

[アート部門]

### 渋谷慶一郎+岡田利規「THE END」

音楽家の渋谷慶一郎と演出家の岡田利規が「終わり」をテーマにした、人間の歌手もオーケストラも登場しない初音ミクによるボーカロイド・オペラを制作。東京、パリを巡回しました。
2012年12月1日-2日 YCAM
2013年5月23日-24日（Bunkamuraオーチャードホール/東京）
2013年11月12日-15日(Théâtre du Châtelet /パリ/フランス)

### 三上晴子「Desire of Codes ｜ 欲望のコード」

2010年に山口情報芸術センター[YCAM]にて委嘱制作し公開されました。
2010年3月20日-2010年6月6日 YCAM
■「蠢く壁面」「巡視する複眼スクリーン」
2010年7月31日-9月5日 "TRUST" （Dortmund U/ドルトムント/ドイツ）
2012年8月27日-9月30日Ars Electronica 2012(LENTOS Kunstmuseum/リンツ/オーストリア)
2013年2月13日-2月24日第16回文化庁メディア芸術祭（国立新美術館/東京）
2013年7月5日-9月8日 Artistas Catalvst（La Alhóndiga Cultural Centre /スペイン）
■「多視点を持った触覚的サーチアーム」
2010年8月5日-9月20日 "SPACE INVENTIONS" （Kunstlerhaus/ウィーン/オーストリア）
2011年10月22日-12月18日 ICC（初台/東京）
2012年8月27日-9月30日Ars Electronica 2012(LENTOS Kunstmuseum/リンツ/オーストリア)
2013年2月13日-2月24日第16回文化庁メディア芸術祭（国立新美術館/東京）
2013年7月5日-9月8日 Artistas Catalvst（La Alhóndiga Cultural Centre /スペイン）

### 「大友良英 / ENSEMBLES/quartets」

2008年に実施した「大友良英/ ENSEMBLES」展5作品の内、「quartets」について巡回しました。
2008年7月5日 – 10月13日　YCAM
2013年12月21日-2014年2月16日 Media/Art Kitchen（Bangkok Art and Culture Centre [BACC]／バンコク／タイ）

### 渋谷慶一郎+池上高志「filmachine」

渋谷慶一郎と複雑系科学研究者の池上高志両氏によるコラボレーション作品。彼らが提唱する複雑系科学を応用した新しい音楽構成理論「第三項音楽」に基づいて緻密に作り上げられたコンピュータサウンドによる立体音響インスタレーションがMEDIA AMBITION TOKYOを巡回しました。
2006年8月9日-10月9日 YCAM
2011年3月10日-20日 Festival EXIT （クレテイユ／フランス）
2011年3月24日-4月3日 Festival VIA（モブージュ／フランス）
2011年4月13日-8月14日 Gare Saint-Sauveur（リール／フランス）
2014年2月7日-3月30日MEDIA AMBITION TOKYO（東京シティビュー／東京）

### 大脇理智「skinslides」

アートの地平を切り開く挑戦的なプロジェクトや、今後が期待される若手アーティストのインスタレーションなどを紹介する展示シリーズ「scopic measure」の第9弾として、ダンサーの大脇理智を中心としたアーティストグループnewClearが制作。文化庁メディア芸術祭を受賞しました。
2009年4月25日-8月31日　YCAM
2014年2月26日-3月9日文化庁メディア芸術祭釧路展（北海道立釧路美術館/北海道）





[パフォーミングアーツ部門]

### 梅田宏明新作ダンス公演「Holistic Strata」

2011年2月19日-20日　YCAM
2011年3月10日-12日 EXIT-Festival（クレテイユ／フランス）
2011年3月31日-4月1日 VIA Festival（モブージュ／フランス）
2011年6月9日 ARTROCK Festival（サン・ブリュー／フランス）
2011年7月9日-10日 Julidans（アムステルダム／オランダ）
2011年8月25日-27日 Noorderzon Performing Arts Festival（フローニンゲン／オランダ）
2012年4月19日-21日 Usine C-Festival Temps d'Images（/カナダ）
2012年4月29日 Belrut International Platform of Dance(/レバノン)
2012年5月2日 Ramallah Contemporary Dance Festival(/パレスチナ)
2012年5月8日 Cultuurcentrum Hasselt(/ベルギー)
2012年9月25日-27日 La Blennale de la Danse/Theatre de la Renalssance(/フランス)
2013年6月26日 МЕДИАФЕСТИВАЛЬ（Winzavod Contemporary Art Center/モスクワ /ロシア)
2013年9月6日 あいちトリエンナーレ2013(愛知県芸術劇場/愛知)

[教育普及部門]

### 熊本市現代美術館ワークショップ招聘

熊本市現在美術館の夏休みイベントとして、身近なケータイというメディアを使って、マナーとルールを学ぶメディアリテラシーワークショップ「ケータイ・スパイ・大作戦」が招聘されました。
2013年8月1日（熊本市現代美術館／熊本）

### キッズデザイン展ワークショップ招聘

オリジナルワークショップシリーズがキッズデザイン賞2012の最優秀賞　経済産業大臣賞を授与しましたことから、同協議会が新潟市で開催する子ども向けイベント「キッズデザイン展」に受賞ワークショップのひとつ「感覚アスレチック」が招聘されました。
2013年11月9日-10日（新潟県立自然科学館／新潟）

■受賞歴
犬飼博士/安藤僚子「スポーツタイムマシン」
第17回文化庁メディア芸術祭エンターテイメント部門　優秀賞受賞

YCAM InterLab+安藤洋子　共同研究開発プロジェクト　「Reactor for Awareness in Motion」
第17回文化庁メディア芸術祭アート部門　審査委員会推薦作品

子どもたちが創造する屋外メディア公園「コロガルパビリオン」
第17回文化庁メディア芸術祭アート部門エンターテイメント部門　審査委員会推薦作品

平成25年度
山口情報芸術センター事業報告書

山口情報芸術センター
Yamaguchi Center for Arts and Media

〒753-0075 山口市中園町7-7
TEL : 083-901-2222 FAX : 083-901-2216
e-mail : information@ycam.jp
http://www.ycam.jp

［発行］平成26年9月

公益財団法人 山口市文化振興財団
Yamaguchi City Foundation for Cultural Promotion

〒753-0075 山口市中園町7-7
TEL : 083-901-2222 FAX : 083-901-2216
e-mail : zaidan-info@ycfcp.or.jp
http://www.ycfcp.or.jp/